

# 山行報告書

報告書作成

H22年6月22日

山名 [山域]	船形山1500m・金華山445m	目的と方法	新緑を楽しむ
登山期間	H22年6月18・19日	山行形態	周回
参加人数	2人		

## 行動記録

6/17(木)名古屋20:00=高速バス車中泊=仙台6/18(金)7:45=トヨタレンタカー=8:00=仙台宮城IC8:30=古川IC8:55(¥650)=36km=大滝キャンプ場10:30・10:50=三光ノ宮分岐10:57=展望台12:05=色麻・小野田分岐12:26=船形山12:37・12:50=升沢・後白髪・観音寺・分岐13:09=千畳敷13:26=升沢小屋14:15=三光ノ宮分岐14:55・15:15=三光ノ宮分岐15:35=大滝キャンプ場15:40=12km=林道終点16:35=かつぱの湯16:50・18:20=道の駅上品の郷(じょうぼん)  
6/19(土)道の駅上品の郷(じょうぼん)4:30=鮎川港5:30・フェリー=8:40~金華山港9:00=金華山散策=金華山港2:00~鮎川港2:20・3:00=石巻IC=仙台北IC=トヨタレンタカー=5:30返却・仙台20:00=6/20(日)名古屋7:40

## 概念図



## メモ

☆ 色麻町からの荒沢林道は砂利道で時速20 kmにて走行。車体を擦る程の悪路ではない。  
☆ 船形山の避難小屋は2箇所ともとても綺麗でした。トイレ有り。  
☆ 升沢コースは雨や雨直後は避けたほうが無難です。  
☆ 金華山コース上で杉の植林地ではヒルに注意です。  
☆ 道の駅 上品の郷には コンビニ。温泉が有り お勧めです。

☆ かつぱの湯 0229-65-4505 ¥500

## 今回出会った花

タムシバ。ミヤマキンバイ。ヨツバシオガマ。コメバツガザクラ。ホソバイワベンケイ。キバナノコマノツメ。オオバキスミレ。シラネアオイ。サンカヨウ。ドウダンツツジの木は多く見られるがはなが少ない。

## 日誌

古川ICを下り、ナビに従い色麻町経由で田んぼの中を走りやがて農道を離れ、砂利道の林道を約15km走る。大滝キャンプ場の駐車場から 緩やかなブナの中を登り始め湯谷地と呼ばれる湿地を過ぎ展望所へ着く。立ち止まるとブヨが集まってくるため、小休止を取りながら急になってきた登山道を稜線に向かって登っていく。県境尾根には御来光岩と呼ばれる大きな岩があり岩を右に見てハイマツやドウダンツツジ、ハウチカエデ、ミヤマナラなどの灌木の道を300mで頂上に着く。頂上には先行していた陸上自衛隊の方たちが休息してみえて心強い気分でした。360度の展望とお花畑を満喫し下山にかかる。升沢コースは沢コースの為、直ぐに雪がでてきましたが雪の量は少なく直に雪はなくなり浅い沢の渡渉を繰り返し升沢小屋へと向かう。升沢小屋からはなだらかに続く登山道を小荒沢へと下り小荒沢を登り返せば三光の宮分岐に着く。翌日鮎川港より金華山港へ行き、港から金華山神社までバスで移動。神社の裏から金華山へ登る。植生保護の柵が至る所にあり鹿の食害で芝生状態になった森の再生に取り組んでみえます。コース自体は危険箇所はなく、海を眺めながらブナやモミ・ミズナラの巨樹群の中をのんびり歩いて4時間程。島とは思えないような深山の雰囲気を感じられます。

## 感想

久しぶりの東北。船形山のミヤマキンバイやシラネアオイ。金華山の巨樹達。自然豊かな山と島。静かな時間を過ごす事が出来ました。山全体がブナやドウダンツツジ・ハウチカエデ・コシアブラなどの落葉樹のため 秋の紅葉は素晴らしいだろうとおもいます。